

平成24年度 福岡県立美術館 自己評価表 (実施段階)

美術館運営計画		
福岡県立美術館が目指す方向性	福岡県立美術館将来構想検討委員会による「新しい福岡県立美術館のあり方について」(平成20年8月)の報告書に掲げられている社会的使命と責任を自覚し、その実現に向けて全館一丸となって諸事業に取り組む。 ①美術を人々の生活や産業活動などとともに福岡県の多様な創造の現場に関わり、社会のなかで生きる美術にすること。 ②福岡県の美術の遺産や今日の創造を、時間や空間の広がりをつないで、世界的視野の中で、福岡県の美術を追求すること。 ③創作や鑑賞、学びや交流など、人が美術とつながる機会と場を設け、すべての県民が美術の魅力を実感する環境を創出できるようにすること。	
平成24年度運営方針	1 福岡県における芸術活動の促進と県民の美術に関する知識・教養の向上に寄与するための取組・事業を推進します。	評価
	2 社会教育課、新福岡県立美術館整備検討チームとの緊密な連携のもと、新福岡県立美術館整備に当たって必要な検討を積極的に行います。	
	3 学校教育との連携を深め、表現及び鑑賞の活動を通して、芸術を理解し、芸術を享受する楽しみや知を構築する楽しみを体験できる児童・生徒の育成を図る事業を行います。	
	4 県民の創作活動を支援し発表の場を提供するとともに、質の高い芸術文化を鑑賞する機会を提供します。	
今年度の重点目標	1 168,000人以上の美術館利用者数(昨年度実績約157,000人)を目指します。	重点目標個別評価
	2 美術館利用者の満足度の更なる向上を目指します。	
	3 コレクション展や特別展など主催事業の内容の充実を図ります。	
	4 他の美術館との結びつきを強めるとともに、館種の異なる博物館との連携の在り方について調査・研究します。	
	5 地域との連携を深め、地域の芸術文化活動を支援します。	
	6 学校教育との連携については、学習指導要領での位置づけを踏まえ、スクール・ミュージアムバス事業を充実させながら、具体的に検討・実施します。	
	7 福岡県に関わる独自コレクションの形成に努め、学芸員等による調査研究を行い、展覧会や諸刊行物等で発表し、普及に努めます。	

大分類	中分類	小分類	個別評価	項目評価	主な成果と次年度への課題等	
1	管理・運営	A 監視業務の徹底	ア・展示品・収蔵品・寄託品の保護のため、24時間体制で美術館の監視に当たります。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 監視業務については、大きな事故等もなく展示品等や来館者の安全確保が図られた。 案内業務については、当館のみならず他館の展覧会を含め適切な展覧会情報の提供を行っている。 施設設備の老朽化のため室温調整が十分でなく、展示室等の快適な環境を提供できているとは言い難い。 耐震診断の結果、耐震補強が必要であることが判明したため補強工事の実施に向けたスケジューリング調整等を行っている。 収蔵庫スペースの減少に伴い、作品の適切な保管が難しくなっている。なお、IPMについては初歩的な段階ではあるが取り組みを始めている。 ハイビジョンギャラリーで実行委員会展の際の作家インタビュー等のコンテンツを放映するなど活用したが、機器やソフトの更新などの充実を図る必要がある。
			イ・来館者の安全確保に万全を図るため館内巡視を徹底します。	A		
		B 案内業務の充実	ア・常設展示室の受付業務を適切に行うとともに展示品の安全確保に努めます。	A		
			イ・主要展覧会情報が適切に提供できるよう努めます。	A		
		C 省エネの推進	ア・両面コピーの推進や裏面の活用などコピー用紙の削減に努めます。	A		
			イ・地球温暖化防止のため消費電力の削減など省エネに努めます。	B		
	D 施設・設備の充実	ア・作品鑑賞のための展示室等の快適な環境を提供します。	C			
		イ・展示品、収蔵品、寄託品の適切な保管に努めます。	B			
	E 収蔵品等の管理・活用	ア・IPM(総合的有害生物管理)に取り組みながら、作品の安全な収蔵・保管・管理に努めます。	B			
		イ・諸資料の適切な管理に努め、常時活用できるようにします。	A			
	F 図書室・ハイビジョンギャラリー等の運営	ア・美術図書を充実させ、自己学習できる環境を整備します。	B			
		イ・ハイビジョンギャラリー・ビデオブスの充実に努めます。	C			
2	A 展覧会の充実	ア・本館所蔵の郷土作家を中心とした特色あるコレクション展を開催します。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 福岡県ゆかりの作家の所蔵品を活用したコレクション展や移動美術館展、絵本やマンガ文化を紹介した実行委員会展、郷土を代表する洋画家二人を対比させた企画展、今まで見過ごされてきた福岡の現代美術史に光を当てた大規模な企画展など、それぞれに特色ある展覧会を開催した。 全体的に来館者数が伸びなかったがアンケート結果などを活用して県民のニーズを分析し今後活かしていきたい。 展覧会ごとに講演会、ギャラリートーク、コンサート、ワークショップ等関連事業も多数開催し、それぞれ好評だった。 福岡市美術館と企画・運営・展示を共同で行う展覧会(福岡現代美術クロニクル展)を初めて開催した。 人気の高い高島野十郎の所蔵品については、必ず数点は鑑賞できるよう必要に応じて特設コーナーを設けている。 貸館業務では展示指導を適時行うほか、広報活動に役立つマスコミ等の一覧を配布するなどして、利用者の創作発表活動をサポートした。 本年度も県展にはレベルの高い作品が多く出品されたが、出品数全体では減少傾向にあるため広報等の改善を検討する必要がある。 学校教育との連携では、スクール・ミュージアムバス事業として多くの学校や子どもたちに初めての美術館体験の機会を提供している。 自前の広報メディアが少ないことが広報における弱みではあるが、ニュース紙をリニューアルするなどの工夫を行っている。 	
		イ・優れた美術品との出会いを提供する実行委員会展や企画展など多彩な展覧会を開催します。	B			
		ウ・地域の芸術活動を支援する移動美術館展を開催します。	A			
		エ・各種展覧会では、ワークショップやミュージアムコンサートなどの関連行事により一層の充実に努めます。	A			
	B 他館及び大学との連携	ア・作品の貸借等、他館との協力連携関係を構築するとともに、本館の収蔵作品の価値を高めるよう努めます。	A			
		イ・各大学から博物館実習生を受け入れ、美術館の社会的な役割を理解するよう育成及び指導を行います。	A			
	C 作品発表の場の提供	ア・展示に関わるレイアウト等、美術館の効果的利用について助言します。	B			
		イ・作品発表の際の効果的広報活動について具体的に助言します。	B			
	D 県展の充実・発展	ア・関係機関と連携して、県展の一層の発展・充実に取組みます。	A			
		イ・県展の役割と意義について広報を行い、芸術文化を尊ぶ県民意識の醸成を図ります。	B			
	E 学校教育との連携	ア・学校の児童生徒等を対象とした出前授業が実施できるよう研究します。	C			
		イ・スクール・ミュージアムバス事業を充実します。	A			
ウ・児童・生徒用の教育普及プログラムを研究します。		B				
F 広報活動の充実	ア・本館ホームページ等を活用し、積極的に情報提供を行います。	C				
	イ・美術館ニュース「とつぱらいと」の定期発行を行い本館の展覧会情報・作家紹介・所蔵品解説等の情報を発信します。	A				
3	調査・研究	A 収集事業	ア・購入、寄贈、寄託等による作品の収集、資料や情報の収集に努めるとともに、それらに対する研究を行い発表します。	C	B	<ul style="list-style-type: none"> 長く購入はできていないが、作家遺族や所蔵家らと良好な関係を築き、寄贈や寄託により作品や資料を収集しており、こうした蓄積から独自性の高い企画展を開催している。
		B 調査事業	ア・本県の美術史、特に本館の収蔵する作品・作家に関する調査研究を行い、その成果を発表し、普及に努めます。	A		

区分	内容等	実施場所	実施期日
展覧会内記	コレクション展 特集:没後30年 鹿児島寿蔵 美しき紙型人形のわざ	福岡県立美術館	平成24年3月17日(土)~6月3日(日)
	コレクション展 夏休み特集:松本英一郎 風景は微細動する	福岡県立美術館	平成24年6月9日(土)~8月31日(金)
	コレクション展 特集:光をさがして	福岡県立美術館	平成24年12月1日(土)~平成25年3月3日(日)
「展覧会等自己評価表」参照	小企画展 郷土の美術をみる・しる・まなぶvol.4 児島善三郎と中村研一 福岡ライバル物語	福岡県立美術館	平成24年10月6日(土)~11月25日(日)
	大企画展 福岡現代美術クロニクル 1970-2000	福岡県立美術館	平成25年1月5日(土)~2月11日(月・祝)
	実行委員会展 第68回福岡県美術展覧会(県展)	福岡県立美術館	平成24年9月4日(火)~9月30日(日)
	実行委員会展 「永田萌-夢みるチカラ」展	福岡県立美術館	平成24年5月25日(金)~7月8日(日)
	実行委員会展 40周年記念 ペルサイユのぼら展	福岡県立美術館	平成24年10月26日(金)~12月9日(日)
	実行委員会展 福岡県立美術館所蔵品巡回展「移動美術館展」	まいピア高田(みやま市)	平成24年9月11日(火)~9月30日(日)